

JBTC ネットから

DDX-TPのサポートについて

昨年12月1日から実験一般公開している当技術研究所が所管する自転車技術情報通信ネットワークシステム(仮呼称JBTCネット)は、参加利用者を公募し、提供しているデータベース、BBS情報等の充実に努めている。一方、ネットのホスト局が本所(愛知県犬山市)にあることから、東京・大阪方面からの利用者には通信料の負担が大きいことへの軽減対策として、ホスト局が日本電信電話株式会社(NTT)のケット通信(DDX-P)に加入し、利用者が電話回線網からDDX-TPにより通信を行うことを図り、ホスト側システムの対応を実施し、本年2月1日からDDXによるサービスを開始している。以下にその内容を簡単に説明する。

ケット通信は、情報量を一定量のケットの形で送受信することで、実際に送った情報量だけに課金される従量制料金となっており、ケット通信の大きな特徴となって遠近格差を軽減する結果となっている。

ケット通信を行うには、NTTのネットワークにあるケット交換網へ直接に接続するDDX-P、一般の電話網から接続するDDX-TP、それにINS-Pを利用する方法がある。

JBTC ネット利用者のほとんどが一般の電話網からのアクセスであることから、DDX-TPの利用について

記す。DDX-TPによる方法には、“ID”方式とパスワード方式の2種類あり、“ID”方式は利用する回線を決めてしまうもので、違う回線からはホスト局に通信できないので、セキュリティの高い方式の通信である。もう一方のパスワード方式は、通信のたびに、DDX-TPの利用者であることを知らせるパスワードと通信手順番号を入力して利用するもので、DDX-TPを契約した回線以外からも利用でき、その料金を契約した回線に課金できるものである。

DDX-TPの利用手続きは、近くのNTTに申請することにより、800円(平成3年6月現在)の契約料で使用可能となっている。

DDX-TPによるJBTC ネットへの接続条件を下記に示す。

- ・センター番号 5485137
- ・通信手順番号 003

次に、DDX-TPパスワード方式を利用し、キャラクターダイヤルによる接続する例を以下に示すが、詳しい説明は、当ネットの「センターからのお知らせ」の中でおこなっており、参照されたい。

遠方からの利用者は、この機会にDDX-TPの利用を検討されることを願います。(JBTC事務局)

===プッシュ回線による例===
(通信ソフトを立ち上げ、ATコマンドを受けつける状態にする。)

ATDT169,,,#26003 (リターニ)	*入力1
CONNECT	*表示1
WELCOME TO NTT DDX-TP (N81)	*表示2
N:0331234567PSW:XXXXXXXX+	*入力2
LAST CALLING: 02/28 17:56	*表示3
PASSWORD ERRORS SINCE LAST CALLING: 0	*表示3
0605485137+	*入力3
*0605485137+	*表示4
COM	*表示5

(JBTC ネットに接続されて、ログイン画面になる。)